



環境かわら版

2025年9月号(第352号)



「SDGs 子ども・ユースフェア」を開催します (P2)



「第12回三河湾大感謝祭」を開催します (P3)



プロから学ぶ連続講座 環境活動ステップアップ研修の参加者を募集します (P4)



環境学習コーディネート事業をご活用ください (P7)



モリゾー キョッコロ
あいちSDGsアンバサダー ©GISPRI

愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/>)



「SDGs 子ども・ユースフェア」を開催します



SDGs について楽しく学び、体感できるイベント「SDGs 子ども・ユースフェア」(SDGs AICHI EXPO)を開催します。ステージイベントやワークショップ、ブース出展、アジアの環境特別展など、多数の企画を用意しています。会場にはモリゾー、キッコロなどたくさんキャラクターも登場します。是非ご参加ください。

なお、ステージイベントは、オンラインでも視聴できます。

1 日時

10月3日(金)、4日(土) 10:00~17:00

2 会場

Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)展示ホールC
(常滑市セントレア5丁目10番1号)

3 主な内容

(1) ステージイベント

- ・お笑い芸人「ジョイマン」、「Everybody」と楽しみながらSDGsを学べる「よしもとSDGsステージ」
- ・お掃除の大切さを伝え、ボランティアとして街の清掃活動にも積極的に参加するアイドルグループ「お掃除ユニット CLEAR'S」によるライブステージ
- ・スケートボーダーの織田夢海選手と愛知東邦大学女子サッカー部による、スポーツの無限の可能性を考える「ユースアスリートセッション」等



ジョイマン



Everybody



お掃除ユニット CLEAR'S

(2) ワークショップ

- ・ボードゲームを通して幸せに暮らせる街について考えるSDGs街づくり講座
- ・SDGsや防災を学べる巨大段ボール迷路
- ・世界のトイレ問題から水やトイレの大切さを学べる講座
- ・希少な鳥を呼ぶためのデコイ(鳥の模型)色塗り体験
- ・電気の大切さを学べるペットボトルを用いたLEDランプづくり等



写真提供: 中日新聞社



写真提供: 株 LIXIL



写真提供: 株豊田自動織機

(3) ブース出展、アジアの環境特別展等

- ・企業・大学・NPOなど約150団体によるブース出展
- ・アジアの環境問題等を紹介するアジアの環境特別展
- ・会場に設置したスタンプを集める「SDGsスタンプラリー」(記念品あり)

4 申込・参加方法

参加は無料ですが、公式サイトから事前の入場登録が必要です。詳細は公式サイトをご覧ください。
(<https://sdgs-aichi.com/>)



5 問合せ先

SDGs AICHI EXPO 実行委員会事務局

((株)新東通信 内)

電話: 052-971-6233 (平日 10:00~17:00)

メール: info@sdgs-aichi.com

環境政策課 企画・広報・法規グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

「第12回三河湾大感謝祭」を開催します



愛知県では、三河湾の再生に向けた取組の機運を高め、多くの県民の皆さんに関心を持っていただくため、10月5日（日）に、西尾市の吉良ワイキキビーチにおいて、「第12回三河湾大感謝祭」を開催します。

1 日時

10月5日（日） 10:00～16:00

2 会場

吉良ワイキキビーチ（宮崎海水浴場）
（西尾市吉良町宮崎西部田地先）

3 主な内容

(1) ステージイベント

- ・セレモニー（知事・西尾市長挨拶）
- ・さかなのおにいさんかわちゃんの世界一楽しいおさかなクイズショー
- ・お笑いライブ（さかな芸人ハットリ）
- ・実験ショー サーカスエコロジカル（TEAM パフォーマンスラボ）
- ・フラ&ハワイアンライブ（スレイタポハク）
- ・三河湾〇×クイズ大会



さかなのおにいさん
かわちゃん



さかな芸人ハットリ



サーカスエコロジカル



スレイタポハク

(2) 体験型コンテンツ

- ・三河湾クルーズ【事前予約及び当日整理券配布】
- ・水中ドローン操作体験会【事前予約及び当日整理券配布】
- ・三河湾生きものタッチプール



マリンリンクス号
（三河湾クルーズ）



水中ドローン操作体験会
（昨年度の様子）

(3) ブース等

- ・吉良名産「イカの煮た」（三河湾産イカの醤油味の煮付け）^{しょうゆ}の無料試食【当日整理券配布】
- ・三河湾産アオサすくい【当日整理券配布】
- ・三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員ブース
- ・三河産食材を扱うキッチンカー・西尾特産品の販売



吉良名産「イカの煮た」



三河湾産アオサ

また、当日は西浦半島の海岸線を歩くウォーキングイベント「第14回にしがまシーサイドウォーク」も開催されます。是非お越しくください。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2025mikawawan-kansyasai12.html>)



三河湾大感謝祭 愛知県

検索

水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ

電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

プロから学ぶ連続講座 環境活動ステップアップ研修の参加者を募集します



愛知県では、NPO やボランティア団体等による森と緑の保全や環境学習などの環境活動の裾野を広げるとともに、活動のレベルアップを図るため、「あいち森と緑づくり税」を活用し、プロから学ぶ連続講座「環境活動ステップアップ研修」を2014年度から毎年度実施しています。

今年度も、テーマごとに3回に分けて実施します。

講義やフィールドワーク等を通じて、環境活動における課題の解決に役立つ知識や技術を学ぶことができます。

参加費は無料で、1回のみでの参加も可能です。

是非ご応募ください。

1 対象者

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の実施団体に所属する方、森と緑の保全活動や環境学習を行っている方、これから行おうとしている方など、どなたでもご参加いただけます。

2 申込期限

第1回：10月10日(金)

第2回：10月23日(木)

第3回：11月7日(金)

※各回とも17:00まで

(必着、申込先着順)



講義の様子

3 申込方法

申込用紙に必要事項を記入し、FAX 又はメールのいずれかの方法でお申し込みください。

各回の申込みのほか、全3回一括での申込みも可能です。

申込用紙のダウンロードや申込先等の詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/kankyostepup.html>)



ステップアップ研修 環境活動

検索

テーマ・日時	内容	場所	定員
第1回 「地域、団体の連携・協働による森づくり」 10月17日(金) 14:00~16:00	地域に密着した「なぞとき樹木探偵」野外学習の10年間にわたる実践経験からの学びと成果を紹介します。 演題：「森を楽しみ、森に親しむ、そして森で(から)学ぶ」 講師： ^{おおさわ ひでふみ} 大澤 秀文 氏(あいち森林インストラクター会)	愛知県三の丸 庁舎 (8階第801会議室)	20名
第2回 「野外活動のリスクマネジメント」 10月30日(木) 10:00~16:00	組織で活かせる野外活動の事故予防について、経験豊かな講師から講義、ワークショップを交えて学びます。 講師： ^{わたなべ なおふみ} 渡辺 直史 氏(プラムネット(株))	もりの学舎 (愛・地球博記念公園内)	20名
第3回 「企画・広報」 11月16日(日) 10:00~16:00	環境や自然に関する事業の企画・広報について、経験豊かな講師から講義、ワークショップを交えて学びます。企画中のイベントなどもブラッシュアップできます。 講師： ^{しが そうし} 志賀 壮史 氏(特定非営利活動法人グリーンシティ福岡)	もりの学舎 (愛・地球博記念公園内)	20名

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

「2024年度ダイオキシン類調査結果」等について お知らせします



愛知県は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき2024年度に実施したダイオキシン類の環境調査結果及び事業者による測定結果を取りまとめました。結果の概要は、次のとおりです。

1 環境調査結果

県は、国土交通省中部地方整備局、5政令市（名古屋、豊橋、岡崎、一宮及び豊田）及びその他11市町とともに、大気環境、水環境（水質、底質及び地下水）及び土壌環境のダイオキシン類の調査を実施しました。

大気（31地点）、底質（40地点）、地下水（14地点）及び土壌（14地点）については、全地点で環境基準を達成しました。また、水質（44地点）については、4地点（長田川潭水橋（碧南市、安城市）、半場川坂下橋（安城市）、西古瀬川西古瀬橋（豊川市）、油ヶ淵中央（碧南市））を除く40地点で環境基準を達成しました。

【環境調査結果】

調査項目	調査地点数	環境基準達成地点数	濃度範囲* (環境基準)	
			濃度範囲	単位
大気	31	31	0.0074~0.035 (0.6以下)	pg-TEQ/m ³
水質	44	40	0.025~2.0 (1以下)	pg-TEQ/L
底質	40	40	0.085~74 (150以下)	pg-TEQ/g
地下水	14	14	0.013~0.11 (1以下)	pg-TEQ/L
土壌	14	14	0.011~1.4 (1,000以下)	pg-TEQ/g

* 環境基準（大気、水質）は年間平均で評価。
TEQとは、ダイオキシン類の異性体の中で最も毒性の強い2,3,7,8-TeCDDの量に換算した値として表したものの。



試料採取の様子（土壌）

2 事業者による測定・報告状況(5政令市分を除く)

ダイオキシン類対策特別措置法に基づく大気基準適用施設又は水質基準適用事業場の設置者は、毎年1回以上、「排出ガス」、「排出水」又は「ばいじん等」に含まれるダイオキシン類濃度の測定を行い、その結果を県に報告することが義務付けられています。

排出ガスについては295施設、排出水については19事業場から報告があり、1施設の排出ガスを除き排出基準に適合していました。排出基準を超過した施設については、改善対策の実施を指導しました。

また、ばいじん等については130施設から報告があり、1施設を除き、ばいじん等の処理に係る基準に適合していました。基準を超過した施設については、ばいじん等の適正な処理を指導しました。

【事業者による測定・報告状況】

測定項目	報告済施設数*1		未測定施設数
	適合	基準不適合	
排出ガス	295	1	0
排出水*2	19	0	0
ばいじん等	130	1	0

*1 施設数は、2024年度末の数を示す（ただし、報告後廃止した施設も含む。）。
*2 排出水の施設数は、事業場数を示す。

3 今後の対応

ダイオキシン類による汚染の状況を監視するため、引き続き環境調査を実施していきます。また、今後も事業場に対する立入検査を行い、排出基準及びばいじん等の処理に係る基準の遵守などを指導していきます。

詳細はWebページをご覧ください。
(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2024dioxin-kisya.html>)



愛知県 ダイオキシン類 公表

検索

環境活動推進課 環境影響・リスク対策グループ
電話 052-954-6211、6212（ダイヤルイン）

「中小企業向け脱炭素経営ハンドブック」を ご活用ください



愛知県では、中小企業の脱炭素経営を支援するため「中小企業向け脱炭素経営ハンドブック」を作成し、Web ページに公開しています。

世界がカーボンニュートラルへと進む中、中小企業においても取引先から CO₂ 排出量の開示や削減を要請されるなど、脱炭素経営に向けた取組が求められています。

本ハンドブックでは、脱炭素経営に取り組むメリットや、「知る」・「測る」・「減らす」という基本的な進め方、また実際に取組を行った中小企業の事例を紹介しています。

脱炭素経営に取り組むきっかけとして、本ハンドブックを是非ご活用ください。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/566527.pdf>)



脱炭素経営の進め方の紹介

愛知県 脱炭素経営ハンドブック

検索

地球温暖化対策課 計画推進グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)

「東三河の水辺環境を親子で学ぶ夏休みエコツアー」を 開催しました



東三河総局環境保全課では、SDGs の観点から東三河地域の自然環境の保全と再生を目的とする「東三河自然再生推進事業」を実施しています。

事業の一環として、8月9日(土)に県指定天然記念物である「^{ながのやま}長の山湿原(新城市)」と近くを流れる矢作川水系の「^{ともえがわ}巴川」で、生物多様性について学習する「東三河の水辺環境を親子で学ぶ夏休みエコツアー」を開催しました。

当日は、天候にも恵まれ、小学生の親子を始め 25 名の方にご参加いただきました。

午前中は、普段は入れない長の山湿原の中に入り、湿原の泥炭に触れるとともに、モウセンゴケやタガメなどの生きものの観察を行いました。また、かつて持ち込まれ、在来種との交雑が懸念される園芸種のサギソウを取り除く様子も見学し、長の山湿原の生態系と国内外来種の問題について学習しました。

午後からは巴川で水生生物調査を行いました。みんなで捕まえたスナヤツメやナマズなどの生きものを教材にして、巴川に生息する生きものと周辺環境の相互関係について学習し、参加者の理解や関心を深めることができました。



湿原の生きもの観察



水生生物調査



巴川の生きもの講座

東三河総局 環境保全課 環境保全グループ
電話 0532-35-6113 (ダイヤルイン)

夏休み環境学習講座を開催しました



愛知県環境調査センター(名古屋市北区)にある環境学習施設「あいち環境学習プラザ」において、「夏休み環境学習講座」を開催しました。11日間で延べ21講座を開催し、小学生の親子を始め454名の方にご参加いただきました。

今年度は、生きもの観察やカードゲームを通じて動植物の生態を詳しく学ぶ講座、工作をしながら海のはたらきや地球温暖化の仕組みへの理解を深める講座、鉄はなぜさびるのかについて実験により考え解き明かす講座などを実施しました。



昆虫を観察する様子



水処理の実験を行う様子

参加者からは「生きものどうしのつながりの大きさが分かった」「海を守るために地域のごみ拾いに参加してみたいと思った」「さびにもいろいろな種類があることを知って驚いた」などの声が聞かれ、楽しみながら環境への関心を高めていただくことができました。

環境調査センター 企画情報部
あいち環境学習プラザ
電話 052-908-5150 (ダイヤルイン)

環境学習コーディネート事業をご活用ください



あいち環境学習プラザでは、環境学習を受けたい方と、環境学習を提供できる方の橋渡し役を担う「環境学習コーディネート事業」を実施し、県民、事業者、NPO、行政、学校等が連携・協働した環境学習を推進しています。

環境学習コーディネート事業では、環境学習の内容や実施方法、講師、教材、活動場所、環境学習施設など環境学習に関する相談への対応や、必要に応じ関係者の調整を行います。

これまでに本事業を活用し、環境学習を実施した依頼者からは「受講者に当事者意識を持たせることができた」等の声をいただいています。学校・事業者等の皆さんは、是非ご活用ください。

詳細はWebページをご覧ください。

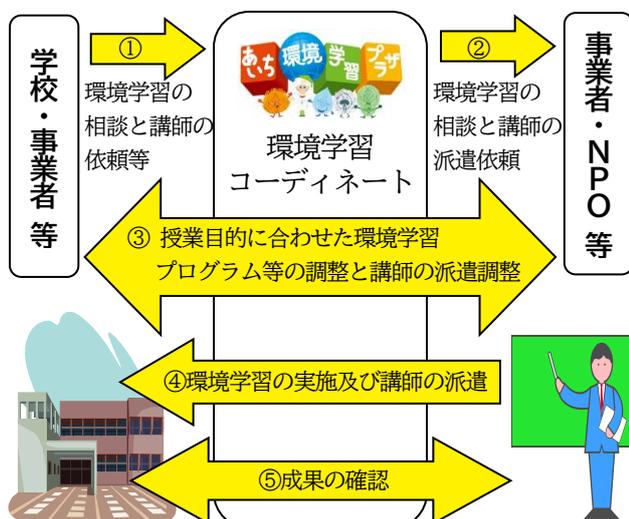
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000060443.html>)



愛知県 環境学習 コーディネート

検索

環境調査センター 企画情報部
あいち環境学習プラザ
電話 052-908-5150 (ダイヤルイン)



国立環境研究所気候変動適応センターでは、「地球沸騰化時代の生き方改革」として、「#適応しよう」キャンペーンを実施しています。これは、現在及び将来の気候変動の影響に備え、快適に暮らしていくための15の「適応アクション」を国民一人ひとりに広げていくものです。

本号では、9月1日の「防災の日」にちなみ、3つの適応アクションを紹介します。

○ アクション03「防災ノウハウを身につけよう」

東海地方では、バケツをひっくり返したように降るなど1時間降水量30mm以上の激しい雨の年間発生回数が増加しているとみられています。災害から身を守るために明暗を分けるのは具体的なシミュレーションです。家族や身近な人と一度、ハザードマップを活用するなどして、防災について話し合ってみましょう。

アクションの具体例

- ハザードマップを活用する
- 災害情報アプリを活用する
- 地域や学校、会社などの避難訓練に参加する
- 避難場所や避難経路を確認しておく など

03 防災ノウハウを身につけよう



国立環境研究所のHPを基に愛知県が作成（以下同じ）

○ アクション04「防災グッズを揃えよう」

2022年9月に実施された内閣府世論調査では、59.1%の人が風水害に備えて、食料や飲料水等を備蓄していないと回答しています。一般的には3日分、高層マンションであれば7日分が防災備蓄の目安と

言われています。備蓄する物・避難時に持っていく物をリスト化した上で、毎年「防災の日」に備蓄品の使用期限や、ラジオの動作確認をする習慣を作ってみましょう。

アクションの具体例

- 簡易トイレを準備する
- ローリングストック(常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法)を活用する
- ポータブル電源を用意する など

04 防災グッズを揃えよう



○ アクション10「災害に強い家で暮らしを守ろう」

台風、豪雨による洪水・内水氾濫や土砂災害、高潮などの自然災害が各地で頻発しています。過去10年間で全国の約98%の市区町村で水害土砂災害が発生している日本は、まさに災害大国です。気候変動の影響により自然災害の発生率が高まる中、住まいの備えを見直しましょう。

アクションの具体例

- 家の定期メンテナンスをする
- 側溝や排水口は掃除して水はけをよくしておく など

10 災害に強い家で暮らしを守ろう



気候変動の影響による災害への備えが大切です。アクションの具体例を参考に、早速取り組んでいきましょう。

愛知県気候変動適応センター
(環境調査センター 企画情報部)
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」(第352号)

発行日 2025年9月1日

編集・発行 愛知県環境調査センター 企画情報部

所在地 〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6

電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>
(今月号とバックナンバーを掲載しています。)



掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。